

(阿久根市脇本字新田ケ丘・糸割淵)

### 位置と環境

古墳群は市街地より北に約7km離れた、脇本地区内湾部にある。現在は寛政以来の新田開発によって開発された田園地帯を見下ろす標高5m程の新田ケ丘丘陵と糸割淵丘陵上に所在する。

### 調査の経緯

昭和37年1月、池水寛治が鹿児島県遺跡台帳作成のための調査によって新田ケ丘1号墳を確認、昭和42年阿久根市文化財保護審議会委員によって新田ケ丘2号墳を確認、また、昭和42年牛ノ濱修により糸割淵丘陵上に露呈した組合式箱式石棺墓を確認、以上の結果から昭和44年阿久根市教育委員会が調査主体となり、調査を実施した。

### 遺構と遺物

脇本古墳群は、新田ケ丘丘陵にある2基の横穴式石室墓・地下式板石積石室墓・箱式石棺墓の計4基からなる新田ケ丘古墳群(第3図)と、糸割淵丘陵にある2基の箱式石棺墓からなる糸割淵古墳群(第2図)の合計6基の古墳からなる。

新田ケ丘1号墳(第3図)は新田ケ丘丘陵縁辺、旧瀬之浦入江と接した畑地内にある横穴式石室墓の古墳である。石室は一部を残すのみで、地表に露呈しており墳丘は、削平を受けて墳丘がどのような形であったかは確認できない。

石室は西向きに開口している様に見えるが、南側側壁になっている大形一枚岩は、以前天井石としてあったもので、南側に開口していたと思われるが、耕作等により羨道跡は削られており確認はできない。

現状では、安山岩の一枚岩による奥壁、東側壁、東袖石、天井石などを残すのみである。西袖石は、以前に持ち去られてしまっている。遺物については、認められないが、長島町の鬼塚古墳等と比較して考えれば、6世紀末より7世紀初頭に推定される。

新田ケ丘2号墳(第3図)は、1号古墳の東側、丘陵のほぼ背部、標高8mの畑地内にある横穴式石室を持つ古墳である。封土は削り取られ石室が露呈して崩壊が著しい。石室は周囲に一枚岩を立てた側



第1図 脇本古墳群の位置

壁があって開口部分は明瞭ではないが、南側床面に攪乱部分が有り、南側部分の側壁も移動した形跡があることから、南側に開口していたと思われ、南側に残る側壁は天井石の移動したものと考えられる。石室内は3区画に区分されていたと思われる。

遺物は石室内が荒らされていたため見当たらなかったが、礫中より須恵器破片が採集されており同古墳と関係あると思われる。

方形で石障を設けており、肥後タイプと呼ばれるものに近く、6世紀中葉より後半に推定される。

新田ケ丘3号墳(第3図)は同2号墳の北側約20mの丘陵北端部の台地縁辺部にあり、ボーリング調査により確認された。長方形の地下式板石積石室墓である。地表下87cmに屍床面を設け、8枚の板石を用いて長方形の石室を作り、直接覆土しながら板石を覆っている。遺物は全長77cmの鉄剣、土師器高杯脚部が確認された。5世紀末から6世紀初頭に推定される。

新田ケ丘4号墳(第3図)は同3号墳の南に2m程の場所にある小型の組合式箱式石棺墓である。墳丘等は確認できない。6枚の砂岩質板石により石室を作っている。遺物として、鉄鏃4本、刀子1本、土師器片が1片確認された。6世紀初頭と推定される。

糸割淵1号墳(第2図)は糸割淵丘陵、旧瀬之浦入江に向かって突き出した丘陵先端部にある組合式箱式石棺墓である。墳丘・葺石は確認できない。砂岩平石により長方形の石室を作っている。

遺物は鉄剣3本、刀子2本、鉄鏃約30本、土師器

小片が確認された。6世紀前半から中葉と推定される。

糸割淵2号墳(第2図)は、1号墳の東北9mの台地縁辺部近くにある組合せ式箱式石棺墓である。

耕作等により西側及び南側の側壁が2枚ずつ残存しているだけである。安山岩質板石により長方形の石室を作っている。

遺物は、直刀2本、鉄鏃片数点が見られる。同1号墳の近くに平行した状況であり、同じ時期と推定される。

**特徴**

脇本古墳群は、横穴式石室墓、組合式箱式石棺墓、地下式板石積石室墓の3形態の埋葬施設が同一丘陵上に隣接してあることから、隼人社会から大和国家への支配体制の中への過程を埋葬形態によって示しており、薩摩における古代社会を知る上で重要な遺跡である。

**遺跡の現状**

新田ヶ丘古墳群は昭和44年市指定史跡として、糸割淵古墳は昭和50年県指定史跡として、現存している。新田ヶ丘3・4号墳については、埋め戻され、見学できない。

**資料の所在**

出土遺物は、阿久根市立郷土資料館に保管・展示されている。

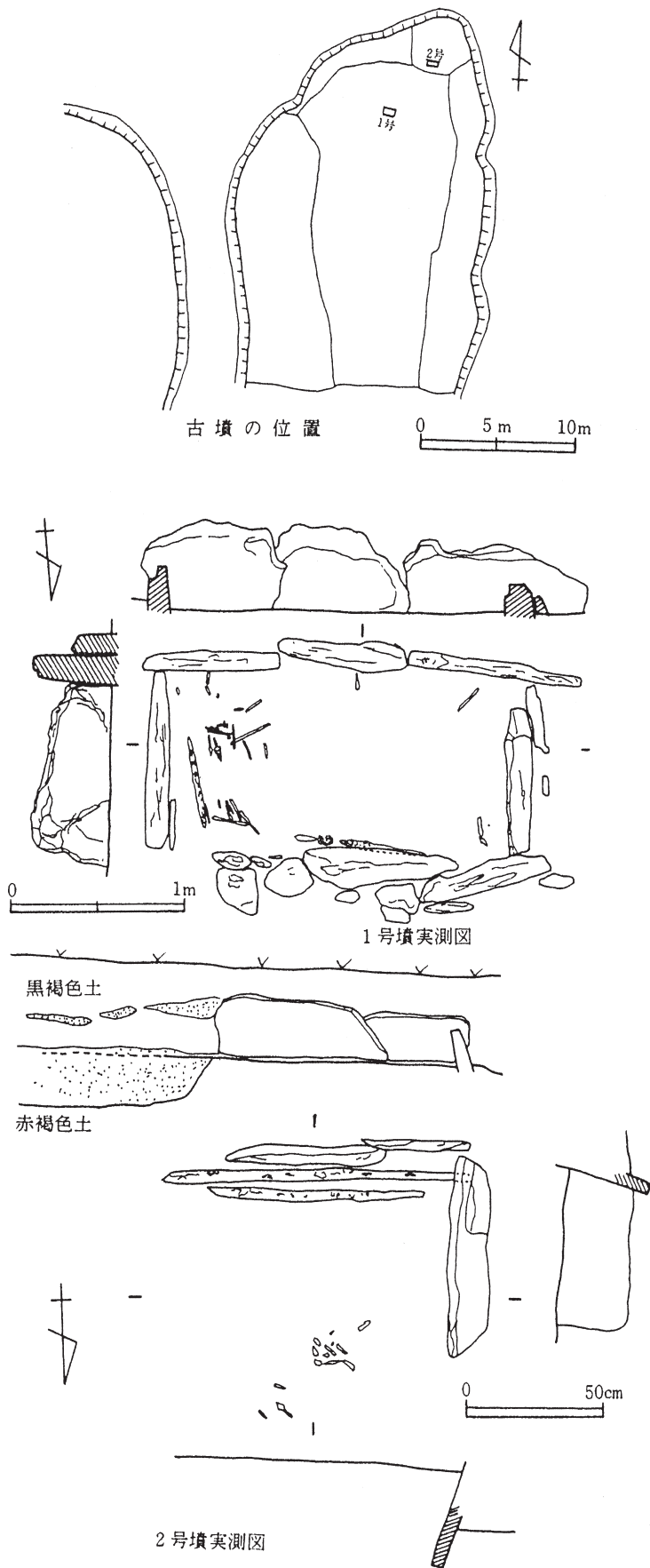
**参考文献**

阿久根市教育委員会1970『脇本古墳群発掘調査報告書』1992『鹿児島考古』第26号

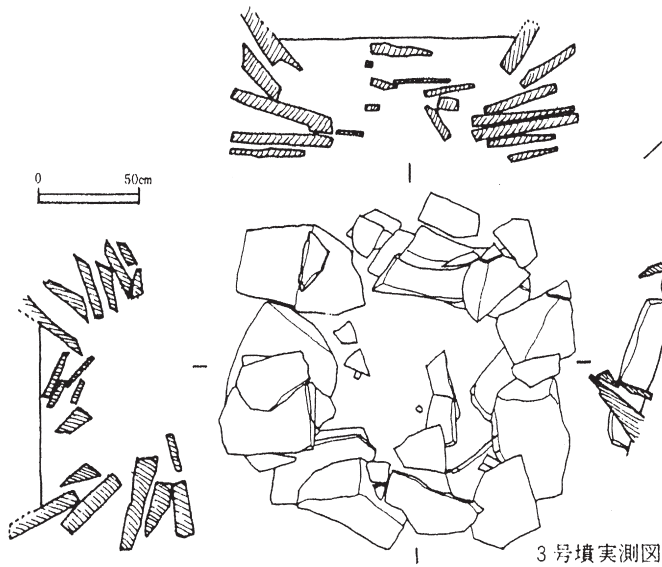
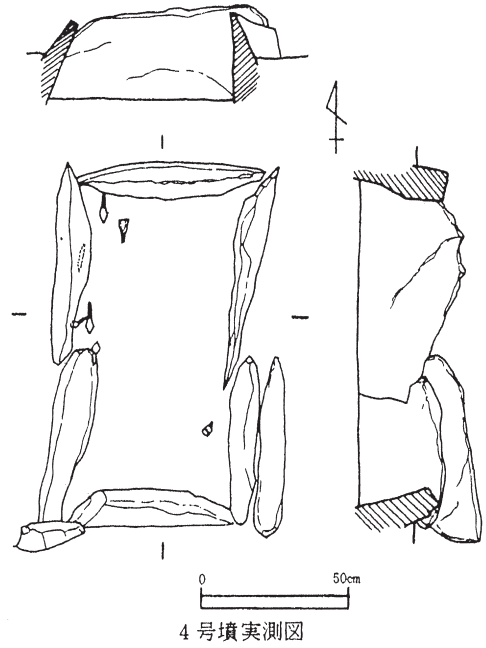
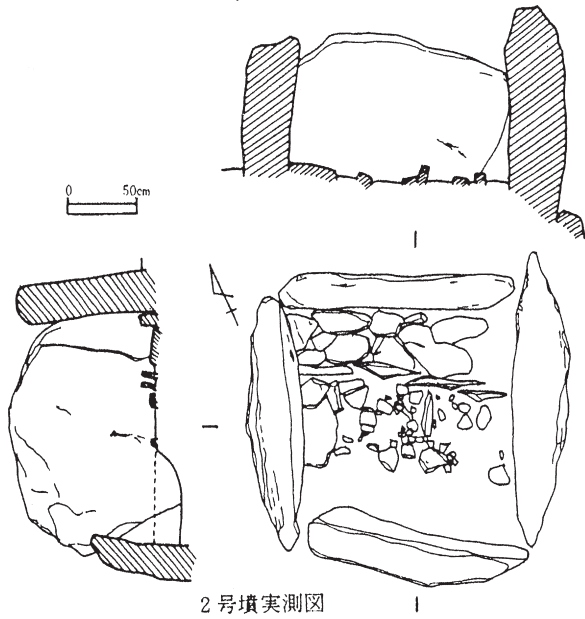
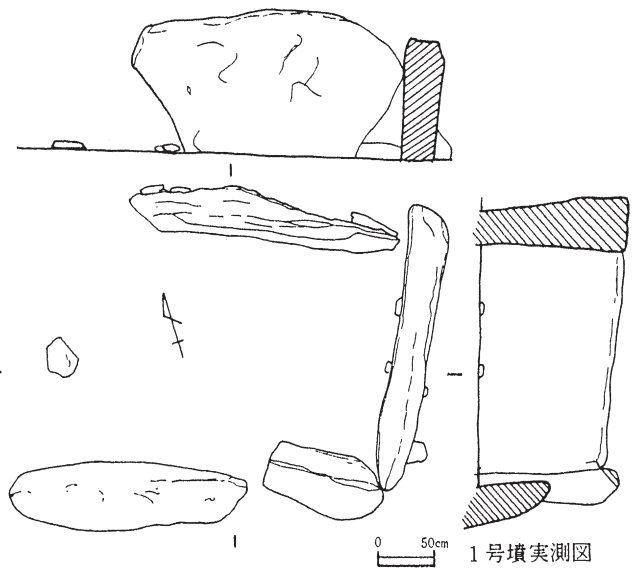
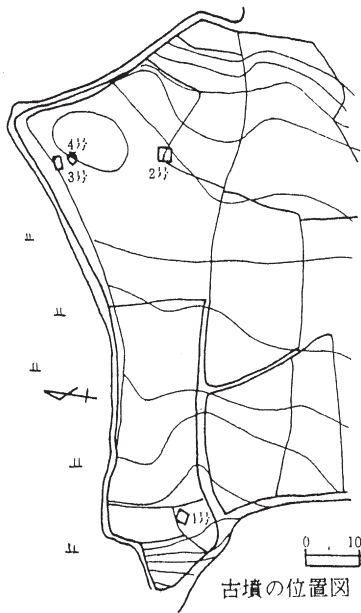
長島町教育委員会1981『長島の古墳』

阿久根市1974『阿久根市誌』

(河北篤司)



第2図 糸割淵古墳群



第3図 新田ヶ丘古墳群